

# 天理大ラグビー

## リーグ昇格へ着実な歩み

—— 天理大ラグビー部

昨年、関西大学Bリーグから降格し、今年はCリーグで試合を行うことになつた天理大ラグビー部。その

悔しさを胸に、名門復活のためにも今シーズンはまずリーグ戦を勝ち抜き、入れ替え戦を突破してBリーグ昇進を果たしたいところ。

身のハツ橋修身選手の加入などでチームのムードは高まっている。

二十四日は京都教育大グラウンドで関西外大と対

戦。押し気味に試合を進め

て、「基本プレーを徹

ゴールで先制した後、13分と29分にトライを奪い、15-0で前半を終了。後半に入つても攻撃の手をゆるめず、5トライの猛攻。

48-0で圧勝し、無傷の四連勝を飾った。残る三試合は大

敗は、その目標に向かって練習に取り組んで

チームには四月からフォワード、パックス、ウエーブトレーニングのそれぞれに担当のコーチがつき、練習内容もより充実したものになつた。また、高校日本下旬の最終戦では甲南大と

戦うことになる。この勢いをせひとも持続させていきたい。

試合後、田中克己監督は今後の課題について、「基本プレーを徹底し、攻守の切り替えをしつかりすることで話した。選手たちは「入れ替え戦に勝つ」という明確な目標を持った。天理大ラグビー部は、その目標に向



7トライを挙げ圧勝した天理大。Bリーグ昇格へ順調な試合ぶり(24日、京都教育大グラウンドで)